

いせさき

いせさき 2014.7 号外



「富岡製糸場と絹産業遺産群」 田島弥平旧宅が 世界遺産に!

6月21日、カタールのドーハで開催された世界遺産委員会で、田島弥平旧宅を含む「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録が決定しました。日本国内では18例目、群馬県内では初となる世界遺産が誕生しました。

写真は田島弥平旧宅の世界遺産登録を祝福して握手を交す、現在の田島家当主の田島英雄さん(中央)、島村の歴史を伝える活動をしている「ぐんま島村蚕種の会」会長の栗原知彦さん(左)と五十嵐市長(右)。

問い合わせ 企画調整課 (☎27-2707)

発行 伊勢崎市 ☎0270-24-5111 FAX 0270-23-9800
〒372-8501 群馬県伊勢崎市今泉町二丁目410番地 URL http://www.city.issesaki.lg.jp
編集 企画調整課 印刷 第一印刷株式会社 毎月1日・16日発行

世界遺産 富岡製糸場と絹産業遺産群

生糸の大量生産技術を開発し、世界の絹産業の発展に貢献



富岡製糸場(富岡市)
明治5年(1872年)にフランスの技術を導入して創設された、日本初、世界最大規模の官営器械製糸場。最先端の製糸技術の開発に貢献したほか、蚕の優良品種の開発と普及を主導した。



田島弥平旧宅(伊勢崎市)
通風を重視した蚕の飼育法「清涼育」を大成した田島弥平の旧宅。文久3年(1863年)に建てた住居兼蚕室の主屋と、換気のため屋根上に設置した「やぐら」の構造は、近代養蚕農家の原型となった。

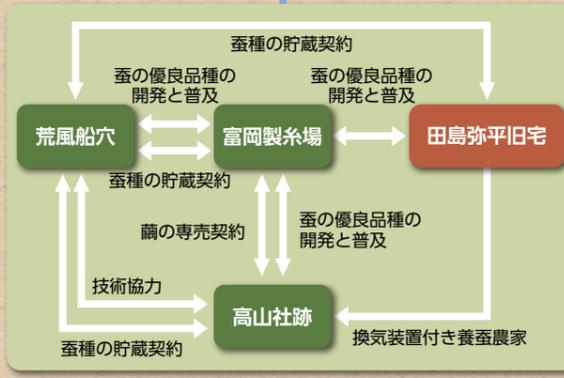


高山社跡(藤岡市)
日本の近代養蚕法「清涼育」を確立し、全国に広めた養蚕教育機関。明治24年(1891年)に建てられた主屋兼蚕室は「清涼育」に最適な構造で、ここで多くの実習生が養蚕技術を学んだ。



荒船風穴(下仁田町)
岩の隙間から吹き出す冷風を利用した、日本最大規模の蚕種(蚕の卵)貯蔵施設。明治38年(1905年)から大正3年(1914年)に造られ、当時1回だった蚕種を複数回可能にした。

世界遺産としての価値
「富岡製糸場と絹産業遺産群」は、長い間生産量が限られていた生糸の大量生産を実現した「技術革新」と、世界と日本との間の技術の「交流」を主題とした近代の絹産業に関する遺産です。



開催決定! 伊勢崎市誕生10周年記念事業・世界遺産登録記念イベント **世界遺産を活用したまちづくり**

期日 8月1日(金)
時間 午後1時30分～5時
会場 境総合文化センター
入場料 無料
申し込み 当日直接会場へ
問い合わせ 企画調整課 (☎27-2707)

内容

- 八木節 上州島村 新地八木節愛好会による「上州島村」
- 基調講演1 「住民が支える文化遺産」
講師 矢野和之さん(株文化財保存計画協会代表取締役)
- 基調講演2 「あの島村に、行こう」
講師 大下茂さん(帝京大学経済学部観光経営学科教授)
- パネルディスカッション 「世界遺産を活用したまちづくり」



田島家当主
田島 英雄 さん

このたび、田島弥平旧宅が世界遺産に登録との決定をいただき、大変光栄です。先に他界いたしました父、田島健一もさぞかし喜んでいただいていることと思います。

これまで、地元である境島村の皆さんをはじめ、多くの方々にご支援をいただき、大変感謝しています。今後もさまざまな面でお世話になると思いますが、どうぞよろしくお願いたします。

活動を始めて8年6カ月、利根川の南の小さな村の大きな養蚕農家が世界遺産に登録され、再び島村の名を全国にとどろかすこととなりました。田島健一前会長と田島弥平博士の霊前にご報告したいと思います。ここに至るまでの県や市などの関係者のご支援に感謝いたします。私たちは、地域住民として誇りと自信を持って地域活性化に向けた活動を続けていきたいと思います。



ぐんま島村蚕種の会
会長 栗原 知彦 さん

田島弥平旧宅を構成資産とする「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産リストに記載されることとなり、大変喜ばしく思います。本市といたしましては、世界遺産登録後も引き続き、田島弥平旧宅の保存・管理に努めていくと同時に、田島弥平旧宅を活用したまちづくりや、県および関係市町と連携した観光振興に、市民の皆様と一丸となって取り組んでまいります。



伊勢崎市長
五十嵐 清隆

田島弥平旧宅に地元住民や関係者など多くの人が集まり、万歳三唱して「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録を祝った。

World Heritage

Tomioka Silk Mill and Related Sites
Tajima Yahei Sericulture Farm



蚕種/Silkworm Eggs

祝 世界遺産登録！

～瓦屋根に換気設備を取り付けた近代養蚕農家の原型～

田島弥平旧宅



6月22日、田島弥平旧宅に地元住民や関係者など多くの人が集まり、万歳三唱して「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録を祝った。

登録までの道のり

- 平成15年8月 群馬県が、富岡製糸場を世界遺産にする研究プロジェクト開始を発表
- 平成18年11月 群馬県・関係市町村が世界遺産候補として「富岡製糸場と絹産業遺産群」提案書を文化庁に提出
- ※この時点での構成資産は、「薄根の大クワ」(沼田市)、「荒船風穴」(下仁田町)、「栃窪風穴」(富沢家住宅) (中之条町)、「高山社養蚕農家群」(六合村)、「旧富岡製糸場」(富岡市)、「旧甘楽社小幡組倉庫」(甘楽町)、「碓氷峠鉄道施設」(安中市)、「旧上野鉄道関連施設」(富岡市、下仁田町)の10件で、田島弥平旧宅は含まれていなかった
- 平成19年1月 「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産暫定一覧表に追加記載される
- ※この時点でも田島弥平旧宅は構成資産に含まれていない
- 平成23年1月 市が文化庁に対し、「田島弥平旧宅」の世界遺産登録に向けた協力を申し出る。田島弥平旧宅を構成資産とした「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録への動きが始まる
- 平成23年10月 国際専門家会議で「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産の絞り込みが行われ、「富岡製糸場」(富岡市)、「田島弥平旧宅」(伊勢崎市)、「高山社跡」(藤岡市)、「荒船風穴」(下仁田町)の4資産とすることが決定。「田島弥平旧宅」は、換気システムを取り入れ近代養蚕農家の原型となったこと、田島弥平が蚕の飼育法「清涼育」を開発し養蚕業を主導したこと、蚕種(蚕の卵)の直輸出で海外交流を図ったことなどが評価された
- 平成24年9月 日本政府がユネスコ世界遺産センターに推薦書(暫定版)を提出
- 平成25年1月 日本政府がユネスコ世界遺産センターに推薦書(正式版)を提出
- 平成25年9月25・26日 ユネスコ諮問機関の国際記念物遺跡会議(イコモス)が現地調査を実施
- 平成26年4月26日 イコモスが「富岡製糸場と絹産業遺産群」について、世界遺産「一覧表への「記載」がふさわしい」と勧告
- 平成26年6月21日 世界遺産委員会が「富岡製糸場と絹産業遺産群」について審議が行われ、世界遺産登録が決定！